

## ミュージアム体験プログラム

博物館の資料を使った体験型ワークショップ「ミュージアム体験プログラム」を開催します。学芸員と一緒に資料をじっくり見て・触れて・試して・つくる、博物館がもっと楽しくなる人気のプログラムです。子どもから大人まで、となたでもご参加いただけます。

**開催日時** ●9月19日(土) ●10月17日(土) ●11月3日(火・祝)  
●12月12日(土) ●1月16日(土) ●2月20日(土)



## 2026年度 ぶんぱくパートナーズ

誰もが歴史・文化・芸術に親しめる環境づくりを行うべく、当館で開催する様々な事業・活動をご協賛やぶんぱくパスポート提携店として応援していただく企業「ぶんぱくパートナーズ」。本年度のぶんぱくパートナーズ(協賛)の募集は2026年3月31日まで、ぶんぱくパスポート提携店は随時募集しています。詳細は当館ホームページよりご確認ください。



## 明石市立文化博物館 年間観覧券のご案内

年間を通じて何度でもご覧いただける年間観覧券「ぶんぱくパスポート」・「ぶんぱくパスポートPREMIUM」をご用意しています。パスポートの提示で明石市内各所のぶんぱくパートナーズ(ぶんぱくパスポート提携店)にて割引や特典など、オトクなサービスを受けられます。詳細及び詳しい特典内容についてはホームページをご覧ください。

- ぶんぱくパスポート  
大人 1,200円 大高生 900円
- ぶんぱくパスポートPREMIUM  
大人 3,000円 大高生 2,200円

各種講座・イベントの詳細や申し込み方法などは、当館ホームページをご覧ください。  
その他 SNS にて当館の最新情報をリアルタイムで配信しています。



## INFORMATION

### ■休館日

- 月曜日(祝日及び特別展開催期間中を除く)
  - 年末年始(12月29日～1月3日)
- ※7月11日(土)・12日(日)は、館内メンテナンスのため休館

### ■開館時間

[通常期] 9:30～17:30(入館は17:00まで)  
[特別展開催時] 9:30～18:30(入館は18:00まで)

### ■観覧料

大人200円/大学・高校生150円/中学生以下無料

- ※特別展開催時は料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください
- ※20名以上の団体で2割引、65歳以上の方は半額、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・マイリポート手帳提示の方と介護者は半額
- ※シニアいきいきパスポートの提示で無料

### ■レストラン

海鮮フレンチ まるせいゆ(文化博物館敷地内)  
TEL:078-917-9797 定休日:月曜日(祝日の場合は火曜日に振替)  
※詳しくはお問い合わせください。

### ■ギャラリー・大会議室利用

美術展・書道展・写真展などに利用できるギャラリー、講演会・研修会などに利用できる大会議室の貸館を行っています。  
※料金や使用手続きについては、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

### ■アクセス

電 車:JR神戸線、山陽電鉄「明石」駅下車  
県立明石公園のお堀東側を北上、徒歩5分  
自動車:第二神明大蔵谷出口より南西へ10分  
第二神明伊川谷出口(東行きのみ)より南へ10分

### ■駐車場

駐車台数:32台  
1台1時間につき100円  
(ただし、1時間未満の端数は1時間とします)  
※駐車台数が限られるため、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場(地図参照)をご利用ください。  
※マイクログラス等でのご来館は、事前にお問い合わせください。



## 明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号  
TEL) 078-918-5400 FAX) 078-918-5409  
URL) <https://www.akashibunpaku.com/>



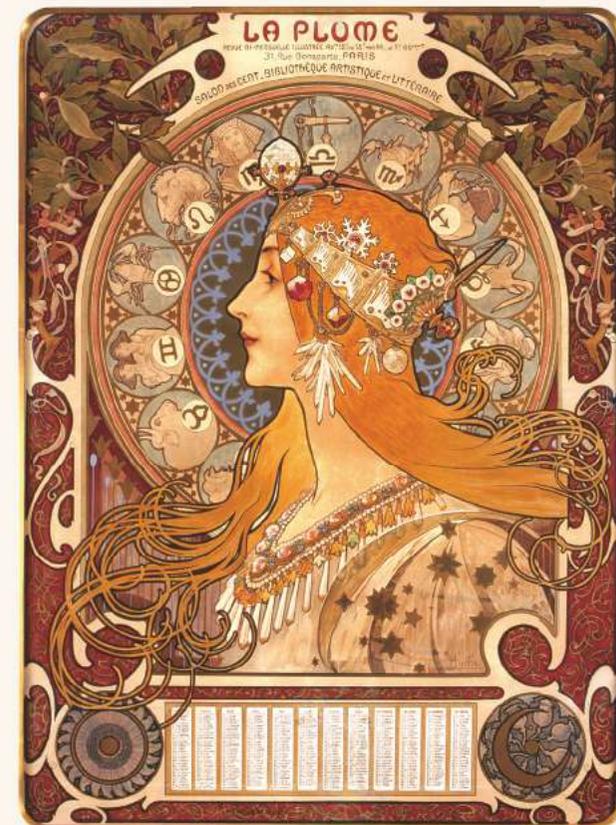
▲ホームページ

## 展覧会スケジュール

# Museum Schedule

## 2026年度

2026.4 → 2027.3



《黄道十二宮「ラ・プリム誌」のカレンダー》1896年 OGATAコレクション

明石市立文化博物館

春季 特別展 **はじめてのミュシャ**  
— 変わりゆくミュースへの“まなざし” —

3.28(土)~5.10(日) 会期中無休

アルフォンス・ミュシャは19世紀末のパリで活躍したチェコ出身の芸術家です。サラ・ベルナール主演の舞台ポスターで名声を得た彼の作品は、優雅で神秘的な“ミュース（女性像）”と装飾的なデザインで人々を魅了しました。現代でもそのモチーフは衣服や化粧品などに使われています。晩年には祖国の歴史を讃える《スラブ叙事詩》に情熱を注ぎました。本展では、時代背景とともに作品を年代順に紹介し、“ミュース（女性像）”の変化を通してミュシャの芸術への“まなざし”を探ります。初めてでも大丈夫！心とまなこでアート体験をお楽しみください。



アルフォンス・ミュシャ《ホワイトスター》  
1899年、OGATAコレクション

企画展 **戦争と明石の人々**  
— 戦中戦後の記憶と遺産を継承する —

5.23(土)~7.5(日)

1945年8月の終戦から80年以上が経ち、戦争を体験された方からお話を聞く機会も徐々に減少してきました。日本本土への空襲はすべての都道府県で行われ、明石も大きな被害を受けました。また地域の隅々までが総力戦体制に組み込まれ、明石からも多くの方が出征し、地域に残った人々も様々な面から戦争遂行への協力を求められました。今回は、明石から出征した人々や戦中戦後の明石の様子について、地域に残る兵事文書や聞き取り調査、地域調査の結果を踏まえてご紹介いたします。



明石にて  
地域の戦死者を弔う公葬行列の様子

夏季 特別展 **こびとたちのいるところ**  
— なばたとしたかのナバーランド —

7.18(土)~9.6(日) 会期中無休

2006年の刊行以来、多くの人びとを魅了してきた、なばたとしたか（1977年〜）による「こびとづかん」シリーズは、今年20周年を迎えます。彼は日常の中に潜む不思議な気配を「コビト」という存在とその生態に合わせて描くことで、読む人をユーモアに富んだマジカルな世界へと引き込む作品を生み出してきました。本展では、なばた氏ののびやかで力強い描線や細部まで描き込まれた緻密な表現に触れられる原画やスケッチ、フィギュアや映像作品などを通して、その世界観を紹介します。



©Toshitaka Nabata

企画展 **明石藩の世界14**  
**秀吉と明石—戦場と物語—**

9.19(土)~11.3(火・祝)

戦国時代の天正年間、織田信長の命を受けた羽柴秀吉は播磨に侵攻します。この戦いで明石の魚住城は、三木城にこもる別所氏への補給を巡る毛利方と織田方との攻防の地となり、周辺の報恩寺などの寺院は兵火に焼かれたと伝わります。後の江戸時代の明石藩に仕官した黒田家の由緒の記録には、秀吉から戦功を賞する感状を与えられたこと、福岡藩主黒田家との関係などが記されました。本展では、関連資料をもとに経済、外交、土木技術が戦いの帰趨を左右した当時の戦場の実相や後世の物語など、秀吉と明石のかかわりを紹介します。



三木合戦の際、焼き打ちに遭った報恩寺跡

企画展 **発掘された明石の歴史展**  
**『播磨国風土記』と明石**

11.14(土)~2027.1.11(月・祝)

市内及び周辺の遺跡からの出土品を、時代やテーマを変えて毎年実施しているシリーズものです。今年度は、『播磨国風土記』と明石をテーマに、奈良時代に編まれた『播磨国風土記（はりまのくにぶだき）』に記載された内容と関わる遺跡を取り上げます。井戸から車輪石や銅鏡などが出土した藤江別所遺跡や、明石駅家（うまや）に関わる瓦が出土した大蔵中町遺跡などの遺跡から、風土記の世界を紹介します。



車輪石、銅鏡、勾玉  
（藤江別所遺跡）

企画展 **「あかし極め人—とみさわかよの剪画展—**  
**「くらしのうつりかわり展」**

2027.1.16(土)~3.7(日)

2013年から2016年にかけて神戸新聞明石版にて連載された「あかし極め人」。明石の技能者に取材したこの記事には、とみさわかよの氏の剪画による技能者たちの肖像画が掲載されていました。本展では、この肖像画を一堂に展示します。カッターナイフで切り出された白と黒の世界である剪画作品の意遣いをご覧ください。また、昭和時代のくらしの様子を当時の道具や写真で振り返る「くらしのうつりかわり展」を同時開催します。毎年恒例の人気企画展が、今年度より展示室を飛び出してロビーを中心に展開されます。昔の道具や遊び体験などもできる、昭和レトロが学べる展覧会をぜひお楽しみください。

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧でご来館いただいています。見学申し込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。



とみさわかよの  
あかし極め人  
（戸田修一氏）



氷冷蔵庫



EVENT  
**その他のイベント**

第9回 あかし若手アートチャレンジ「光」

2026.9.27(日)~10.4(日)

本展は、明石市近郊の高校生、大学生による絵画や立体作品などの優れた美術作品の発表として、博物館を開放し、地域に開かれた博物館づくりの一環として開催する展覧会です。本展参加者は、単に作品を出品するだけでなく、展示設営から撤収作業を、学芸員や他の出品者と協力して行うのも本展の特徴の一つです。今年度は、「光」をテーマに出品していただきます。初日には出品者によるギャラリートークも開催いたします。



昨年の展示作業の様子



作品のギャラリートークの様子

無料開館日イベント



7月20日(月・祝)、10月11日(日)、12月6日(日)は無料開館日とし、「だれにでもやさしい、みんなで作る」博物館を目指し、様々な業種や団体と連携して、博物館が市民の交流の場となるイベントを予定しています。